

ノーベル賞１００周年記念国際フォーラムについて（結果）

日本学術会議は、国内の科学者及び一般の人々にノーベル賞の考えを身近に理解する機会を提供するため、ノーベル財団及びノーベル賞授与機関関係者、ノーベル賞受賞者等を招き、２００２年３月に東京及び京都で「ノーベル賞１００周年記念国際フォーラム」を開催した。

フォーラムの概要

○ ノーベル賞１００周年記念国際フォーラム

International Forum Commemorating the Centennial of the Nobel Prize

- ・ テーマ 創造性とは何か
- ・ 主催 日本学術会議
- ・ 日時・場所 ２００２年３月１６日・１７日 東京大学安田講堂（２日間）
３月２０日 国立京都国際会館（１日間）
- ・ 参加者 科学者及び一般（東京・京都 延べ約３,０００名）
- ・ 使用言語 日本語及び英語（同時通訳）
- ・ 招待講演者
 - ・ ノーベル財団専務理事
 - ・ ノーベル博物館館長
 - ・ ノーベル賞授与機関関係者
（物理学、化学、医学・生理学、文学、平和及び経済学の各賞の選考委員等）
 - ・ ノーベル賞受賞者（江崎玲於奈教授、利根川進教授、白川英樹教授、
野依良治教授、Ｆ・シャーウッド・ローランド教授）
- ・ 日程

2002年		午 前	午 後
3月16日(土)	東京 会場	基調講演及び招待公園	招待講演
3月17日(日)		招待講演	パネルディスカッション 「創造性を如何に育てるか」
3月20日(水)	京都 会場	基調講演及び招待講演	パネルディスカッション 「創造性を如何に育てるか」

- フォーラムでは、開会に総務副大臣、科学技術担当大臣及び東京大学総長の挨拶があり、その後14名の招待講演者等による講演及びパネルディスカッションが行われ、3日間で延べ3,000人の参加者を集め、ノーベルの精神やノーベル賞の意義、また、創造性の文化についての理解を深め、大いに盛況であった。